

(業界・業種)

- ・医療機器
- ・医療機器製造販売業



登壇者名	赤津 和三
役職	代表取締役
連絡先	k-akatsu@syntec-jp.co.jp

Syntec®



株式会社 シンテック

設立 (西暦)	1996年3月
本社所在地	福島県いわき市錦町江栗前25番地
会社HP	http://syntec-jp.co.jp
事業プラン名	[Qualityの高い体内固定ケーブルシステムの事業化]
事業プラン概要	<p>現在までに、大手医療機器メーカーより、「体内固定ケーブルシステム」として、販売されている状況下で、既存製品の課題を抽出し後発であるがため、改良改善を付加の中で、さらに優位性を有し、低侵襲性製品を患者へ提供する。現在、医療機器として承認は取れているものの、再度、承認内容を低侵襲性機器として精査した結果、術時の操作性の向上より術時間の短縮、また、患者への装着後の負担減を目指し、次の課題を抽出し改善を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 機器を締結固定するための部品形状の改善。 ⇒角部をR形状にし、治療部位の周辺部の接触を緩和する。2) 術時の装着性の向上。 ⇒締結ケーブルの先端部構造変更。3) 弊社製品 (体内固定ケーブルシステム)
福島/本プログラムにかける想い	<p>地場産業の発展に貢献をと、異業種より医療機器産業に参入し、開発より製品までの事業化を図るべく推進してきましたが、医療機器分野については、当然のこと、製品の安心・安全の担保は必須で、さらに術者に対し、機器の操作性、患者へは低侵襲性が求められる。</p> <p>このような中で、機器を精査し、改良改善を図る上で本プログラムは、我々中小企業に対し、資金的支援は早期事業化を図ることができる大きなバックアップです。</p>
イベントにご参加いただく方への一言	<p>将来に希望と勇気をもって異業種参入し根気よく「継続と進化」を目指すことにより、道は開けます。現在、「コロナ感染」で種々の業界に過大な打撃が走っています。弊社は、異業種より医療機器業界へ参入し、開発より製品・事業化へ約10年になります。この間、厚労省・県の認証取得、ISO-13485取得等、ソフト面の整備に係る人材の育成等苦難の課題がありましたが、ハード面では、地域ネットワークの中で「ものづくり管理」も構築しさらに、知財管理 (国内、外国) も達成し、現状拡販に向けて奮闘中です。</p>



製品(滅菌済)



針付ケーブル



専用締結器械